

7月定例記者会見要旨

初めに9月1日に予定しております、コミュニティバスのリニューアルについての情報です。

今回のリニューアルにつきましては、「通えるまちづくり」や「コンパクトシティの構築」といったまちづくりの方針を踏まえつつ、「運行本数の増加」や「運行時間の拡大」などの市民の皆様のご要望にお応えするために、運行体系を見直したもので、特に「高運行頻度による移動性向上」と「持続可能で利便性の高い交通環境の提供」に重点を置いて見直しを行っております。

「高運行頻度による移動性向上」につきましては、運行頻度を高め、交通結節点でのシームレスな乗り継ぎ環境を構築することで、移動性・速達性をより強化しており、さらに「持続可能で利便性の高い交通環境」を構築することで、高齢化や人口減少社会を見据えたコンパクトシティの形成、人と人とのつながりを活かした地域づくりなど、次代のまちづくりの要請を支える貴重な生活インフラとしての役割を果たしていくものと期待しているところでございます。

今回のリニューアルでは、持続可能な運行を確保するための運賃改定を行う一方で、無料乗継券や割引率が高い通学定期券の導入、さらには、コミュニティバス限定「おたっしゅパス」の対象年齢を70歳から65歳へ引き下げるなど、学生や高齢者の皆さんが利用しやすい環境の整備にも努めております。

また、リニューアルを機にバスのデザインも一新しました。新たなデザインは、ルート別に色分けし、車体正面と側面にはナンバリングされたルート番号を大きく表示するなど、利用者目線でより分かりやすいデザインを導入しています。

リニューアル初日となります9月1日には、関東鉄道竜ヶ崎駅での出発式

及びバス待合室『りゅう舎』の完成記念式典を開催するほか、市役所において本市地域公共交通協議会会長で流通経済大学教授の板谷和也(いたや かずや)氏による基調講演を開催いたします。

当日はコミュニティバスの無料運行も行いますので、記者の皆様には、体験乗車も含め、取材方よろしく願いいたします。

続きまして、職員採用試験へのSPI3導入の情報です。

近年、地方行政を取り巻く環境変化が激化する中で、多様化する行政課題への対応が求められており、こうした課題の解決には、柔軟な発想や対応ができる人材の確保が重要となっております。

これまで、本市の職員採用試験では、日本人事試験研究センターによる教養試験、いわゆる統一試験を活用してまいりましたが、こうした時代の変化に対応するため、令和元年度試験から「総合能力試験・SPI」を導入することといたしました。

「総合能力試験・SPI」は、「どのような特徴を持った人物であるのか」、「自治体職員として発揮できる能力やスキルを持ち合わせているのか」など、より人物を重視した選考に適しており、SPIの導入により本市が求める人物像に合った、より優秀な“人財”を確保できるものと考えております。

民間においては、すでに多くの企業で導入されているSPIですが、近年は自治体においても導入するところが増えてきております。県内でも導入例はありますが、一般事務職を対象に従来の公務員試験を廃止し、この試験を導入するのは、本市が県内で初となります。

また、この「SPI」は公務員試験対策を特に必要としないことから、民間企業へ就職を優先している方にも、広くチャレンジしていただけるのではないかと期待をしているところです。

続きまして、8月26日から開講いたします介護予防「いきいき運動講座」の情報です。

これは、平成28年度からスタートした介護予防事業で、専門のインストラクターが、スポーツクラブで専用の器具を使った運動や栄養管理などを指導するものです。

「介護予防運動」、「栄養管理」、「口腔ケア」をはじめ、各種介護予防対策が一体的に学べるのが本講座の特長で、市内にある『スポーツクラブ・ルネサンス』への業務委託により、民間企業の知識やノウハウ、更には施設までを活用した、より専門性の高い、効果的な介護予防事業となっております。

講座は一般の利用者がいないスポーツクラブ休館日に開催しており、運動器具やフィットネススタジオが自由に利用できるなど、非常に充実した環境の中で、専属のインストラクターによるきめ細かい指導を受けることができ、毎年定員オーバーで抽選になる程、市民より大変好評を得ております。

市では、民間企業の知識やノウハウ、施設などを重要な地域資源として捉えております。また、『市民の健康づくり』といった観点では、スポーツクラブの理念や目的と共通する部分も大きいことから、今後もお互いの役割をきちんと認識・共有し合いながら、「WIN×WIN」の協働体制のもと、市民の健康増進策を展開していきたいと考えております。